

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第2部門第4区分
【発行日】令和5年4月12日(2023.4.12)

【公開番号】特開2022-180655(P2022-180655A)
【公開日】令和4年12月6日(2022.12.6)
【年通号数】公開公報(特許)2022-224
【出願番号】特願2022-162048(P2022-162048)
【国際特許分類】

B 4 1 J 2/14(2006.01)

B 4 1 J 2/01(2006.01)

B 4 1 J 2/16(2006.01)

【FI】

B 4 1 J 2/14 5 0 1

B 4 1 J 2/01 3 0 5

B 4 1 J 2/14

B 4 1 J 2/16 4 0 1

【手続補正書】

【提出日】令和5年4月4日(2023.4.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数の吐出孔を有しており、

一方の長縁に切欠きが形成されており、

平面視において、前記切欠きから他方の長縁までに延びる領域に、少なくとも1つの前記吐出孔を含んでいる

ノズルプレート。

【請求項2】

前記切欠きは、前記一方の長縁に沿う方向の長さが、前記吐出孔の径よりも大きい

請求項1に記載のノズルプレート。

【請求項3】

前記一方の長縁に形成された切欠きを第1切欠きとするとき、

前記他方の長縁に第2切欠きが形成されており、

平面視において、前記第2切欠きから前記一方の長縁までに延びる領域に、少なくとも1つの前記吐出孔を含んでいる

請求項1に記載のノズルプレート。

【請求項4】

複数の吐出孔が配列された吐出孔行を有しており、

前記吐出孔行に直交する一方側の外縁に切欠きが形成されており、

平面視において、前記切欠きから前記吐出孔行に直交する他方側の外縁までに延びる領域に、少なくとも1つの前記吐出孔を含んでいる

ノズルプレート。

【請求項5】

前記切欠きは、前記吐出孔行に直交する前記一方側の外縁に沿う方向の長さが、前記吐出孔の径よりも大きい

10

20

30

40

50

請求項 4 に記載のノズルプレート。

【請求項 6】

前記吐出孔行に直交する前記一方側の外縁に形成された切欠きを第 1 切欠きとするとき、

前記吐出孔行に直交する前記他方側の外縁に第 2 切欠きが形成されており、
平面視において、前記第 2 切欠きから前記吐出孔行に直交する前記他方側の外縁までに延びる領域に、少なくとも 1 つの前記吐出孔を含んでいる

請求項 4 に記載のノズルプレート。

【請求項 7】

前記切欠きは、平面視において、凹状の角部を有している内面を有している

10

請求項 1 ～ 6 のいずれか 1 項に記載のノズルプレート。

【請求項 8】

前記切欠きは、平面視において、凹状の曲線で構成されている内面を有している

請求項 1 ～ 6 のいずれか 1 項に記載のノズルプレート。

【請求項 9】

前記複数の吐出孔が設けられている吐出面を有した、請求項 1 ～ 8 のいずれか 1 項に記載のノズルプレートと、

前記ノズルプレートの前記吐出面とは反対側に重なっているカバープレートと、を備え

、
前記ノズルプレートに形成された前記切欠きをノズルプレート用切欠きとするとき、
前記カバープレートは、前記ノズルプレート用切欠きに重なるカバープレート用切欠きを有している

20

液体吐出ヘッド。

【請求項 10】

前記カバープレート用切欠きの形状は、前記ノズルプレート用切欠きの形状と同一である

請求項 9 に記載の液体吐出ヘッド。

【請求項 11】

請求項 1 ～ 8 のいずれか 1 項に記載のノズルプレートを有した流路部材を備える
液体吐出ヘッド。

30

【請求項 12】

請求項 9 ～ 11 のいずれか 1 項に記載の液体吐出ヘッドと、
記録媒体を前記液体吐出ヘッドに対して相対的に移動させる移動部と、
前記液体吐出ヘッドを制御する制御部と、を備える
記録装置。

40

50